

平成21年度 一般会計補正予算審査特別委員会審査報告 (第3回) 委員長 森下昌次

歳入歳出それぞれ8,860万9千円を追加して総額を66億833万3千円とする。
繰越明許費は電波遮へい対策事業（浅貝テレビ共同受信施設地デジ改修）他11事業計2億7,495万8千円を翌年度に繰越す。

歳入の主なもの

使用料及び手数料	滝沢駐車場の冬季以外無料により	250万円の減
国庫負担金	国民健康保険者支援分の確定による精算	563万2千円減
国庫補助金	子ども手当システム導入事業システム改修	354万6千円
	建設機械整備補助金	895万9千円減
	がけ地近接危険住宅移転事業補助金	242万円減
	浅貝テレビ共同受信施設地デジ改修事業	7,845万6千円
県補助金	がけ地近接危険住宅移転事業補助金	121万円減
	湯沢インター出入口看板整備事業	185万円
財産収入	神立高原スキー場用地の未貸付期間4ヶ月分	362万1千円減
	財政調整基金、減債基金、学校施設整備基金	391万7千円
	町有地売却	他113万9千円
	町有林立木売却	246万1千円
諸収入	市町村交付金（宝くじ交付金分）	2,594万3千円増

歳出の主なもの

総務費		
一般管理費	固定資産税評価に対する訴訟の弁護士委託	52万円増
財産管理費	庁舎管理費の燃料費・清掃・警備の委託料清算	230万円減
財政調査基金、利子分、減債基金利子分、湯沢町公共事業基金		1,564万5千円増
情報化推進費	総合型GISサーバー	189万円減

主 な 質 疑

- ㉓: 41億6,000万円の町税収入見込みが予算どおり確保できるのか。
- ㉔: 町税は当初41億5,900万円が見込まれている。1月現在の徴収率が61.6%、0.1%の対前年比増となっている。前年度の75.2%とは若干落ち込むが、鋭意努力して予算はクリアできると見込まれる。
- ㉕: 青少年体育センター跡地の今後の計画を伺いたい。
- ㉖: 夏場は60台駐車可能な無料駐車場、冬場ファミリー向けスノーチューブ、スノーランドとして活用する。
- ㉗: 除雪経費は、当初と合せ約2億9,000万円が予算計上された、18年豪雪の決算額より多くなる理由並びに特別交付税の措

置の見込みはあるのか。

- ㉘: 除雪経費は、車道歩道除雪委託料、消雪井戸電気料、設備の修繕料を含めると1億2,000万円で現在執行している。総額では例年並になると考えているが、今後の降雪状況で変わる。また、特別交付税は、今現在がんばる地方応援プロジェクトの1,500万円のみとなっているが、今後交付されると期待している。
- ㉙: 外国人観光客の受け入れ態勢の整備は減額になっている。外国語でお客様をお迎えできる体制をとっているのか。
- ㉚: 駅周辺に6ヶ国語標記の案内看板を6基作っている。他に指差し案内書もつくり、JTBからの研修も計画している。
- ㉛: 都市計画整備の維持費が270万円補正減となった理由は、
- ㉜: バッティングゲージを、野球合宿誘客のために購入する予定であった。実現はできなかったため減額補正した。

22.3 平成21年度 特別会計補正予算

平成21年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）——— 賛成全員で可決
歳入歳出予算にそれぞれ361万6千円を減額し、予算総額を10億6,445万4千円とするもの。

平成21年度介護保険特別会計補正予算（第3号）——— 賛成全員で可決
歳入歳出予算にそれぞれ181万5千円を減額し、予算総額を7億1,995万3千円とするもの。

平成21年度病院事業会計補正予算（第3号）——— 賛成全員で可決
医療機器（大腸内視鏡）購入費を10万円増額するもの。

平成21年度下水道特別会計補正予算（第3号）——— 賛成全員で可決
歳入歳出予算にそれぞれ2,685万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を10億9,347万3千円とするもの。

平成21年度水道事業会計補正予算（第3号）——— 賛成全員で可決
収益的支出の事業費用の特別損失で過年度欠損を350万円増額し、事業費用総額を4億454万6千円とするもの。